



エコアクション21 環境経営レポート

対象期間：2024年2月1日-2025年1月31日

三機商工株式会社

2025年3月31日



1. 会社概要

1. 事業所名

三機商工株式会社

2. 代表者氏名

里園 知嗣

3. 所在地

本社： 東京都八王子市宇津木町 1 4 番地 1

4. 環境管理責任者

里園 知嗣（代表取締役）

連絡先 TEL: 042-659-3385 E-Mail : satozono@sankishoko.co.jp

5. 事業の規模

資本金： 3,200 万円
年商額： 60,500 万円(2025年1月期)
従業員数： 11 名
延床面積： 199.94 m²
敷地面積： 317.00 m²

6. 主要事業の内容

大規模改修工事
建物調査・診断及び外壁改修等建物再生リフレッシュ工事

7. 設立年月日：1976 年 6 月 21 日

8. 建設業許可：東京都知事 許可（特-5）第 48252 号

建築工事業 令和5年7月31日から令和10年7月30日まで

認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：三機商工株式会社

対象事業所：本社

活動：大規模 内・外装改修工事

建物調査・診断及び外壁改修等建物再生リフレッシュ工事

三機商工株式会社の事業概要

(1) 事業概要

- ◇大規模改修工事
- ◇既存建物再生・リフレッシュ工事
- ◇建物外壁調査診断
- ◇外壁タイル剥落防止工事
- ◇外壁補修・補強
- ◇外壁塗装
- ◇各種防水工事
- ◇耐震等改修工事
- ◇内装改修
- ◇サッシ改修

※建設工事の着手の前には、お客様との調整を含め、建物検査・診断を実施し、協力業者と調整を行い、施工計画を作成し、作業の準備を行います。

工事の実施にあたっては住民等関係者への説明、協力業者との相互理解などを行い、安全を確保し丁寧な施工を心がけます。

完了後には報告書作成のほか、保守・維持に関する資料も十分に提供します。

(2) 工事实績事例＜2023・2024年度＞

【南多摩水再生センター特高受変電棟ほか6か所建物改良工事】

外壁及び屋上防水改良工事



【長房ふれあい館大規模改修建築工事】

屋上防水改修工事・外壁改修工事・天井改修工事・内部改修工事



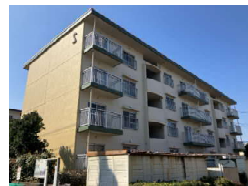
【八王子市立上四谷中学校校舎・体育館外壁改修及び屋上防水改修工事】

外壁、屋上パラペット、バルコニー、庇、鉄骨階段及び体育館の外壁等の改修、並びに校舎の屋上防水改修



【八王子市営住宅高倉団地2号棟外壁改修及び屋上防水工事】

外壁及び屋上防水工事



2. 環境経営方針

三機商工株式会社環境経営方針

環境基本理念

当社は、建築物の改修工事を主とする建設業として、地球規模及び地域に関する環境保全の取組を行い、社会と環境との調和に貢献します。

行動指針

環境基本理念に基づき、当社の事業活動において、以下の行動を行います。

1. 事業活動においては、地域社会や自然環境への影響に配慮し、汚染予防等環境リスクの低減に努めます。
 - ① 環境法令及び当社が受け入れるその他の要求事項を順守します。
 - ② お客様とのコミュニケーションを充実して、工事する建築物の保守性・耐久性・美観等、顧客満足度を高めます。
 - ③ 環境を配慮した資機材を使用し、作業・工事に際しては、産業廃棄物削減及び再資源化し、環境への影響が少なくなるように配慮します。
 - ④ 使用する機器及び車両の電力・燃料の消費削減に努めます。
 - ⑤ 協力会社を含め、関係従業員への教育・啓蒙を図り、無事故無災害を念頭に、意識・技術の向上を目指します。
 - ⑥ 事務所での業務においては電力・水の使用量削減、廃棄物の排出抑制に努め、近隣への騒音防止、美化等生活環境に配慮します。

2. 環境経営システムの確立と継続的改善

この環境経営方針に基づいて環境経営システムを構築して、継続的にレベルアップを進めます。

3. 周知・公表

この環境経営方針は全ての従業員に周知すると共に一般に公表します。

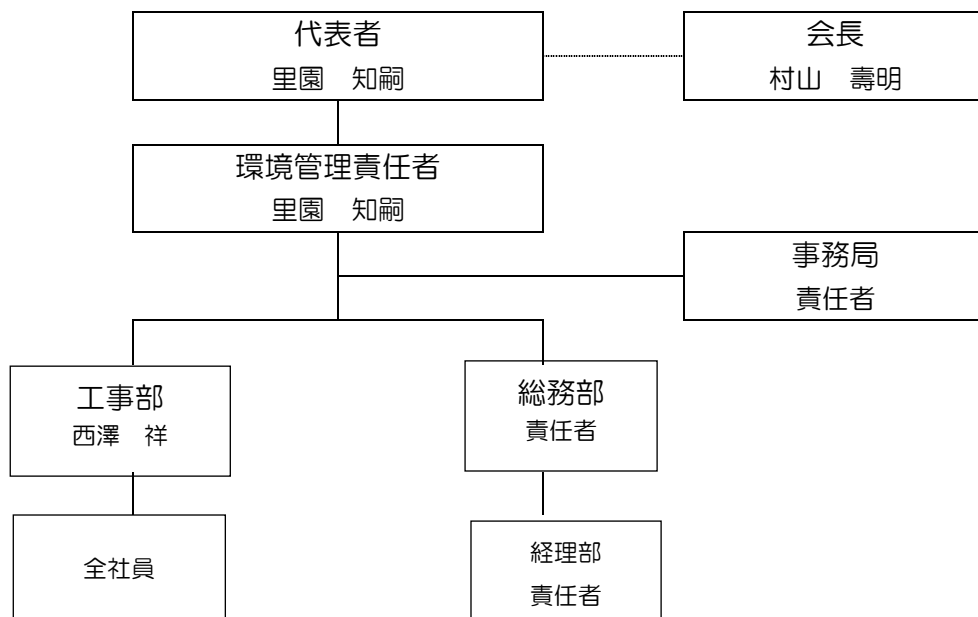
制定 2021 年 11 月 1 日

改定 2025 年 3 月 1 日

三機商工株式会社

代表取締役 里園知嗣

3. 実施体制 組織図



役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表取締役	・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境活動計画書を承認 ・環境への取組みを実施するための人員、設備、費用等を準備 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境活動計画書を確認 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーション ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 ・問題点の発見、是正、予防処置 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境負荷の状況

過去3年間の主要環境項目の状況

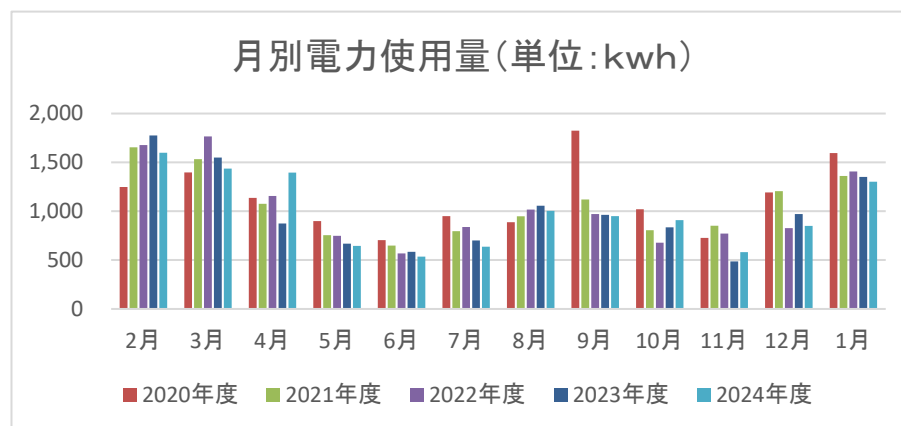
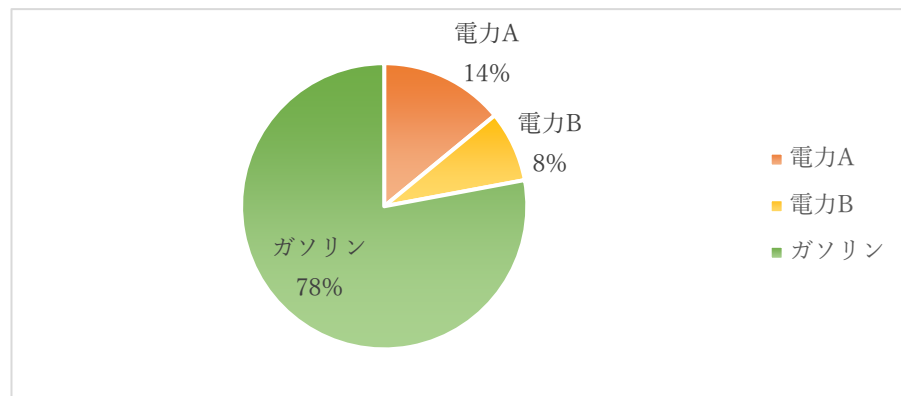
年度の期間：2月-1月

	項目	単位	2022 年度	2023 年度	2024 年度
(1) ガソリン	ガソリン使用量	L	8,705	8,782	7,941
	ガソリン CO2 換算量	kg-CO ₂	20,210	20,388	18,437
(2) 電気	電力使用量	kWh	12,416	11,808	11,835
	電力 CO2 換算量	kg-CO ₂	5,475	5,207	5,219
(3) 二酸化炭素	CO2 排出量	kg-CO ₂	25,685	25,596	23,657
(4) 廃棄物・資源物	一般廃棄物	t	0.245	0.165	0.107
	産業廃棄物	t	103.155	69.784	103.71
	資源物	t	0.1	0.1	0.1
(5) 水	上水使用量(排水量)	m ³	37	37	35
(6) 塗料の溶剤	キシレン	kg	29.83	350	5.76
	エチルベンゼン	kg	22.07	350	1.70
	トリリジン イソシアネート	kg	3.67		0.22
	トルエン	kg	744.42	254	655.6

二酸化炭素排出量の計算に使用した電気の二酸化炭素排出係数は、0.441kg-CO₂/kWh（東京電力エネルギーパートナー(株)の2020年度調整後排出係数の実績値）

エネルギー種類別 CO2 排出量：2024 年度（合計 23.7 トン）

注記：電力 A は電灯用(100V 系) 電力 B は動力用(200V 系)



5. 環境経営目標及び環境活動計画

5.1 中期環境経営目標

表 - 1 中期環境経営目標の主な項目 2025.03.01 作成

重 点 施 策		目 的	基準年度	環境経営目標			
			2020 年度 実績	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
1 環境負荷の削減	1.1 省エネルギー・省 資源	1.1.1 ガソリン 使用量削減	12,418L	燃料消費 3%削 減 12,046L	燃料消費 4% 削減 11,922L	燃料消費 5% 削減 11,796L	燃料消費 6% 削減 11,673L
		1.1.2 電力 使用量削減	13,574kWh	消費電力量 3% 削減 13,167kwh	消費電力量 4%削減 13,031kWh	消費電力量 5%削減 12,896kWh	消費電力量 6%削減 12,760kWh
		1.1.3 二酸化炭素 排出量削減	34,8t-CO2 (エネルギー から計算)	CO2 排出量 3%削減 33.8t-CO2	CO2 排出量 4%削減 33.4t-CO2	CO2 排出量 5%削減 33.1t-CO2	CO2 排出量 6%削減 32.7t-CO2
		1.1.4 水 使用量削減	31.0 m ³	上水使用量 3% 削減 30.1 m ³	上水使用量 4%削減 29.8 m ³	上水使用量 5%削減 29.5 m ³	上水使用量 6%削減 29.1 m ³
	1.2 廃棄物の 削減	1.2.1 産業廃棄物 の削減	11.3t	産業廃棄物量の 3%削減 11.0 t	産業廃棄物量 の 4%削減 10.9 t	産業廃棄物の 5%削減 10.7 t	産業廃棄物の 6%削減 10.5 t
		1.2.1-1 産業廃棄物 の再資源化		再資源化率 90%以上	再資源化率 90%以上	再資源化率 90%以上	再資源化率 90%以上
		1.2.2 一般廃棄物 の削減	0.096t	自社廃棄物量の 3%削減 0.093 t	自社廃棄物量 の 4%削減 0.092 t	自社廃棄物量 の 5%削減 0.091 t	自社廃棄物量 の 6%削減 0.090 t
		1.2.2-1 一般廃棄物 の再資源化		再資源化率 100%	再資源化率 100%	再資源化率 100%	再資源化率 100%
2 環境取組の推進・向上	2.1 グリーン 購入	2.1.1 事務用品グ リーン購入	—	環境配慮型備品 消耗品の調達率 100%	環境配慮型備 品消耗品の調 達率 100%	環境配慮型備 品消耗品の調 達率 100%	環境配慮型備 品消耗品の調 達率 100%
	2.2 全 従業員の 参加	2.2.1 従業員教育	—	環境負荷削減に ついでの教育、 説明会を月 1 回 30 分実施	環境負荷削減 についての教育 、説明会を 月 1 回 30 分 実施	環境負荷削減 についての教育 、説明会を 月 1 回 30 分 実施	環境負荷削減 についての教育 、説明会を 月 1 回 30 分 実施
		2.2.2 安全教育	—	安全大会実施 現場にて実施	安全大会実施 現場にて実施	安全大会実施 現場にて実施	安全大会実施 現場にて実施
3 環境配慮 建設事業の	3.1 建設資材	3.3.1 塗料、溶剤 の環境配慮	—	化学物質（溶剤 等）の 3%削減	化学物質（溶 剤等）の 4% 削減	化学物質（溶 剤等）の 5% 削減	化学物質（溶 剤等）の 6% 削減
	3.2 施工方法	3.2.1 施工の改 善・高度化	—	騒音・悪臭、ゴ ミ等苦情・異常 なし	騒音・悪臭、 ゴミ等苦情・ 異常なし	騒音・悪臭、 ゴミ等苦情・ 異常なし	騒音・悪臭、 ゴミ等苦情・ 異常なし

5.2 環境経営計画

表ー２ 2024年度環境経営計画の概要

実施項目	責任者	実施事項	担当	日程
ガソリン 使用量の削減	里園	① 燃費を調べる	運転者	毎日
		② エコドライブを実施する		
		③ 余分な荷物を積まない		
		④ 燃費の良いルートを走行する		
電力使用量の削減	高橋	① 離籍時の消灯	全員	随時
		② 昼休みの消灯		
		③ 階段利用の推進		
		④ エアコンの設定温度 夏27℃ 冬21℃		
		⑤ PC スリープモードの設定		
二酸化炭素 排出の削減	環境事務局	ガソリン、電力及びその他の少量の燃料から計算する	高橋	毎月
水使用量の削減	高橋	① 水道はこまめに止める	全員	毎日
		② 節水に努める		
		③ 漏水を定期的にチェックする	高橋	随時
産業廃棄物の削減及び 再資源化	西澤	① 分別を徹底する	工事部全員	毎日
		② 通い箱を設定する		
		③ 有価物を分別・抽出する		
		④ 材料取を工夫する		
		⑤ 再資源化できる処理業者を選択する	西澤	随時
一般廃棄物の削減及び 再資源化	高橋	① 分別を徹底する	全員	毎日
		② 資源物と廃棄物を仕分ける		
		③ 失敗コピーをしない様に注意する		
		④ 再資源化できる処理業者を選択する	高橋	随時
文房具のグリーン購入	高橋	⑤ 購入前に在庫を確認する	高橋	随時
		⑥ カタログで環境配慮製品を選択する		
有機溶剤使用量の削減	里園	① 水溶性材料を検討する	工事部 協力会社	随時
		② 蓋をして揮発を防ぐ		
		③ 使用上の管理を徹底する		

6. 環境経営目標達成状況及び計画実施状況の評価

6-1 環境経営目標の達成状況

2024年度（2024年2月～2025年1月）の実績を評価しました。

No.	環境経営目標	実績	評価	説明・課題
1	1.1.1 ガソリン使用量：11,796L (2020年2月-1月実績の△5%)	7,941L	◎	今後の車購入にも目を向ける
	1.1.2 電気使用量：12,896kWh (2020年2月-1月実績の△5%)	11,835kWh	◎	受注する仕事によって変動する
	1.1.3 二酸化炭素排出量：33.1t-CO2 (2020年2月-1月実績の△5%)	23.6t-CO2	◎	ガソリンと電気の使用による
	1.1.4 水消費量：29.5 (2020年2月-1月実績の△5%)	35 m ³	×	事務所利用者に変動があるので状況を把握する
	1.2.1 産業廃棄物 10.7 t (2020年2月-1月実績の△5%)	103.71 t	×	工事案件によって産業廃棄物排出量が変わる 分別を徹底するとともに状況を把握する
	1.2.1-1 産業廃棄物の再資源化 再資源化率 90%以上	97.4%	○	埋め立て・焼却以外は実現している
	1.2.2 一般廃棄物（資源物を除く） 0.091 t (2020年2月-1月実績の△5%)	0.107 t	×	一般廃棄物は増えたが、社内からの産業廃棄物は減っているので維持する
	1.2.2-1 一般廃棄物の再資源化 再資源化率 100%	100%達成	◎	市の収集に出して資源化
2	2.1.1 グリーン購入・グリーン調達 (環境配慮型備品消耗品の調達率 100%)	100%達成	◎	もっと調査・検討しグリーン購入を推進する
	2.2.1 従業員教育 (環境負荷削減についての教育、説明会を月1回30分実施)	月1回30分実施	○	現状出来ているので更なる教育と協力
	2.2.2 安全教育 (安全大会実施・現場にて実施)	安全大会実施 現場毎に実施	○	特に問題なし (事故トラブルなし)
3	3.3.1 塗料、溶剤の環境配慮 (化学物質<溶剤等>の5%削減)	受注した仕事により増加	×	受注する仕事によって変動する
	3.3.2 施工の改善・高度化 (騒音・悪臭、J ₁ 等苦情・異常なし)	苦情なし	◎	苦情なし

※1の評価 よくできている（+10%以上）：◎ できている：○ できてない：×

※2、3の評価は、責任者及び担当者の判断による

6-2 実施結果及び評価、今後の取組

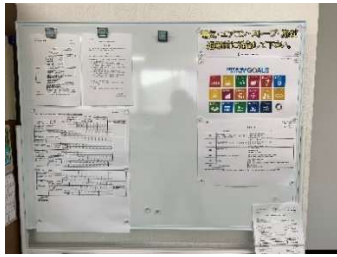
環境経営目標を達成するための実施事項の評価及び次年度の課題

No.	環境目標項目	実施事項	評価	実施内容及び今後の取組
1.1.1	ガソリン使用量の削減	燃費を調べる	◎	各自給油毎記録した。継続
		エコドライブを実施する	○	アイドリングストップなど実施した。継続
		余分な荷物を積まない	○	荷台を空にしている
		燃費の良いルートを走行する	○	平坦な道を通る
1.1.2	電気使用量の削減	昼間不要時の消灯、電源OFF	◎	引き続き間引きで点灯
		PC等事務機のスリープモード設定	○	各自設定している
		空調温度の適正化 (冷：27℃ 暖：21℃)	○	ONの時確認
1.1.4	水消費量の削減	節水呼びかけ	○	出しっ放しにしない
1.2.1	産業廃棄物の削減	対象廃プラ別手順の設定	○	継続する
		分別廃棄の順序	○	現場にて分別した
		廃プラの再使用・再資源化の推進	○	できている、継続する
2.1.1	グリーン購入・グリーン調達	事務用品のエコマーク品購入	○	発注時確認できている
		工事用資器材の環境配慮	○	現場毎に取り組んでいる
		グリーン購入・調達の実績把握	○	事務所、現場で実績把握している
2.2.1 2.2.2	安全対策及び教育	従業員教育	○	1回(1h)/月実施した
		毎月現場のパトロール	○	各現場を巡回した
		毎月安全会議	○	月末定例会議実施した
3.3.1	塗料、溶剤の環境配慮	グリーン購入の資料を収集	△	不十分なので継続する
3.3.2	施工の改善・高度化	足場に代わるゴンドラ工法など	○	ゴンドラ工法を実施した 補強クロスなし工法実施

目標の達成状況 ◎：よくできている ○：できている △：やや不十分 ×：不十分

7. 取り組み事例紹介

① 掲示板



- ・事務所に専用ホワイトボードを設置して、資料を掲示し社員全員の意識を高める。

② 説明会、勉強会

- ・月1回行われる定例会や、新規の現場が始まる前のミーティング、また現場での朝礼等で、勉強会を行い情報共有する

③ 照明



- ・プレートやステッカーをスイッチ周辺に貼り、必要なエリアの照明のみを使う習慣付けを促す

④ 空調機



- ・エアコン点検表で、音やフィルターの詰り・汚れ等をチェックして、正常に作動しているか、確認する

⑤ ゴンドラ作業



- ・改修工事に於いて、居住者のストレスになる外部足場を架けずに、ゴンドラで作業をする
- ・外部足場が無い事で、防犯対策にも繋がる

8. 今後の取組に向けての主な課題

8.1 代表者見直しの要旨

8.1.1 評価

- ・4年目の実施ではありましたが、二酸化炭素排出削減は、改善することが出来たので目標を達成した。
- ・一般廃棄物の削減は達成できなかったが、分別の強化による結果である為、これからも分別強化を徹底する。
- ・産業廃棄物は分別する等の改善をしたものの、目標未達成であった。排出抑制及び分別・再資源化を徹底する。

8.1.2 指示

- ・SDGs等社会状況や建設業界動向の情報を収集して、環境に配慮した施工に関しての資材・工法の合理化を検討する。
- ・環境関連法規、労働安全関係、廃棄物等、法律・条令に基づき産業廃棄物の削減や水の削減を検討する。

8.2 2025年度の環境経営計画の主な内容

1) 管理維持項目

2024年度に設定した計画の実施事項についての定着化を図ります。

2) 主な新規改善課題

- ・EA21の担当者の意識は高くなっているので、社員が皆同じ意識を持って活動する。
- ・やらされているではなく、楽しみながら活動出来るまで、理解する。

3) 課題

- ・従業員への教育周知と全体としての個々人のレベルアップ
- ・労働環境改善、働きやすい職場作り

9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

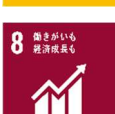
当社に適用される主な環境関連法規は、労働安全関係、廃棄物、消防及び車両関係ですが、これらの法律及び条令に基づき適切に対応しており、違反はありません。関係機関等からの指摘もありません。また訴訟、苦情に関しても過去3年間ありません。

SDGs と三機商工(株)の事業及び施策

2015 年 9 月国連で採択された、よりよい世界を目指す国際目標 SDG s（持続可能な開発目標）の目標項目に照らし、三機商工の事業活動及び会社の諸施策、社会的役割などを考えてみました。

建設業界では、建物・土木等インフラ作りが持続可能な社会作りに直結するとの認識で、SDGs を進めています



	目標番号と目標	関連性	三機商工の 事業活動及び施策	社会的役割
	3.すべての人に健康と福祉を	◎	定期的健康診断を含めて健康増進を推進	協力会社を含め、従業員の安全と健康を確保しています
	4.質の高い教育をみんなに	◎	職種、階層に応じた教育・訓練を実施	各人が知識・技術があり、家庭・地域でも支援・活動する
	5. ジェンダー平等を実現しよう	○	現場を含めて男女が就労可能	男女平等に配慮しています
	7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに	○	公害・CO2 の少ない電気、ガソリン、軽油等を使用	できるだけむだなく効率的にエネルギーを使うようにしています
	8. 働きがいも経済成長も	◎	建築物の改修等の工事等に関連する業務。 適正賃金、福利厚生充実	協力会社を含めた働きがいのある職場作りに努力しています
	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	◎	建築物の検査・改修等の技術があり、なお向上を続けている	工事対象の建物が快適に利用でき、長期利用できるよう努めます
	11. 住み続けられるまちづくりを	◎	建築物の改修等の工事業	建物を長期利用でき、建て替えの必要がなくなる
	12. つくる責任 つかう責任	◎	耐候性の高い建材や高反射塗料を使用。自社の建物・設備を使用	建物、エアコン・P C等設備を大事に使う
	13. 気候変動に具体的な対策を	○	エネルギーを合理的に使用し、CO2 排出削減を推進	できるだけ CO2 を出さないようエネルギーを使います
	15. 陸の豊かさも守ろう	◎	防水工事の際に屋上や壁の緑化を推進	コンクリートやタイルでは無く、植栽が CO2 削減に繋がる。
	17. パートナリーシップで目標を達成しよう	◎	従業員が全員参加の家族的な会社運営	協力会社を含め、従業員は家族のような仲間です